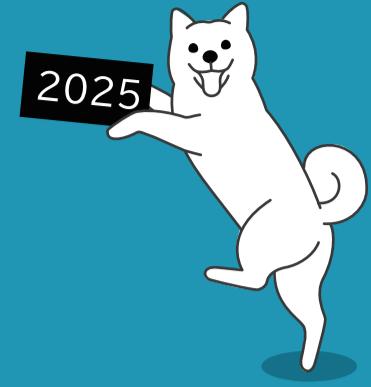




第1回
全国リフォーム調査 結果

EDUN

第1回 全国リフォーム調査 結果



家電とリフォームのエディオンでは、全国の4,700名を対象に、直近5年間のリフォーム事情を調査いたしました。（※1）

（※1）対象者のうち2025年にリフォームを行った1,165名にリフォームした場所を確認

1

2025年 リフォームをした場所 TOP10

2026年 リフォームをしたい場所 TOP10

2

2025年 リフォームをした理由 TOP10

3

2026年 これからのリフォームトレンドは？

4

「ポイントリフォーム」と「フルリフォーム」
選んだ理由は？ TOP10

5

2025年リフォームにかけた金額

6

みんなのリフォーム満足度

2025年 リフォームをした場所 ランキング

リフォーム人気TOP3は、1位トイレ 2位外壁の張り替え・塗装／3位キッチンまわり

2025年にリフォームした場所での1位は「トイレ」の40.5%が最も多く、「外壁の張り替え・塗装(29.5%)」は2位、システムキッチンの交換やビルトイン食洗器の設置などの「キッチンまわり(29.2%)」は3位となりました。また、ユニットバス交換や浴室暖房乾燥機の設置などの「ユニットバスまわり(24.3%)」、「洗面所(21.9%)」が4位と5位が入り、日常で使用頻度の高い「水まわりのリフォーム」が多い結果となりました。[図1]



[図1] 2021年から2025年に行ったリフォームTOP10(複数回答)

1位	トイレ	40.5
2位	外壁の張り替え・塗装	29.5
3位	キッチンまわり	29.2
4位	ユニットバスまわり	24.3
5位	洗面所	21.9
6位	壁紙・クロスの張り替え	21.5
7位	屋根の葺き替え・塗装	20.2
8位	サッシ・窓の交換 (二重サッシ、断熱窓、内窓など)	18.5
9位	玄関ドア・玄関周り・勝手口の改修	12.6
10位	ドア・建具の交換	11.8

(%)

2025年にリフォームした人(165)

直近5年間のリフォーム場所は「トイレ」が連続1位
「キッチンまわり」は2021年から2024年まで2位と上位位置！

[図2] 直近5年間のリフォームした場所

	2021年 (n=789)	2022年 (n=1,059)	2023年 (n=1,192)	2024年 (n=1,187)	2025年 (n=1,165)
1位	トイレ 54.1	トイレ 52.4	トイレ 50.7	トイレ 46.4	トイレ 40.5
2位	キッチンまわり 38.8	キッチンまわり 33.5	キッチンまわり 33.8	キッチンまわり 32.7	外壁の張り替え・塗装 29.5
3位	洗面所 34.7	ユニットバスまわり 33.0	外壁の張り替え・塗装 31.1	外壁の張り替え・塗装 30.3	キッチンまわり 29.2
4位	ユニットバスまわり 33.8	洗面所 31.8	ユニットバスまわり 30.5	洗面所 25.7	ユニットバスまわり 24.3
5位	外壁の張り替え・塗装 33.3	外壁の張り替え・塗装 29.9	洗面所 28.1	ユニットバスまわり 25.0	洗面所 21.9
6位	壁紙・クロスの張り替え 26.2	壁紙・クロスの張り替え 23.9	壁紙・クロスの張り替え 21.2	壁紙・クロスの張り替え 22.3	壁紙・クロスの張り替え 21.5
7位	屋根の葺き替え・塗装 21.3	屋根の葺き替え・塗装 19.7	屋根の葺き替え・塗装 21.0	屋根の葺き替え・塗装 18.9	屋根の葺き替え・塗装 20.2
8位	ドア・建具の交換 16.5	玄関ドア・玄関周り・ 勝手口の改修 16.2	サッシ・窓の交換 (二重サッシ、断熱窓、内窓など) 15.4	サッシ・窓の交換 (二重サッシ、断熱窓、内窓など) 17.9	サッシ・窓の交換 (二重サッシ、断熱窓、内窓など) 18.5
9位	玄関ドア・玄関周り・ 勝手口の改修 15.6	電気給湯器 (エコキュート) 15.3	玄関ドア・玄関周り・ 勝手口の改修 13.1	玄関ドア・玄関周り・ 勝手口の改修 14.1	玄関ドア・玄関周り・ 勝手口の改修 12.6
10位	ガス給湯器 14.8	サッシ・窓の交換 (二重サッシ、断熱窓、内窓など) 14.7	電気給湯器 (エコキュート) 12.4	ドア・建具の交換 13.7	ドア・建具の交換 11.8

(%)

2021年から2025年の5年間で見ると、「トイレ」が連続1位となります。2位の「キッチンまわり」は、2021年から2024年までの4年間上位でした。一方、「外壁の張り替え・塗装」は年々上昇傾向を見せ、2025年は2位に上昇しています。また、「壁紙・クロスの張り替え」と「屋根の葺き替え・塗装」は6位と7位を5年間キープしています。



担当者の声

【上位の傾向】1位トイレは不具合対応で安定、2位外壁はリフォーム後の「総仕上げ」として需要急増
【水回りの動機】キッチン・浴室は、機器の「耐用年数」到来と「機能性(乾燥機等)」がカギ
【窓の満足度】断熱・省エネ効果を体感しやすく、費用対効果の実感値が高い

2025年 リフォームをした理由 ランキング

リフォームの理由は、設備の老朽化・故障が1位
2025年は、「住まいの維持や管理」が、リフォームの直接的な動機に！

リフォームの理由については「設備が古くなったり故障したため（67.4%）」が1位となり、次いで「暑さ・寒さ・湿気など、住まいの快適性を高めるため（18.7%）」、「節電・省エネにより光熱費を抑えるため（13.1%）」が上位になりました [図3]



[図3] リフォームをした理由TOP10（複数回答）

1位	設備が古くなったり故障したため	67.4
2位	暑さ・寒さ・湿気など、住まいの快適性を高めるため	18.7
3位	節電・省エネにより光熱費を抑えるため	13.1
4位	断熱・換気・空気環境など健康を意識した住まいにしたいから	10.7
5位	耐震性・安全性・防犯性を高めるため	7.8
6位	（子どもの独立や高齢化など）家族構成の変化に対応するため	7.7
7位	建て替えよりもコストを抑えて再生したかったため	7.2
8位	中古住宅を購入・相続したため、自分好みに整えたいから	6.7
9位	家の資産価値を維持・向上させるため	6.1
10位	家事の効率を上げるため（タイムパフォーマンスを高めるため）	5.9
全体 (n=4,700)		(%)

過去5年間のリフォーム理由は「設備の老朽化・故障」が連続1位
異常気象や物価高騰などの理由もリフォームの動機に！

[図4] 直近5年間の「リフォームをした理由」TOP10（複数回答）

	2021年 (n=789)	2022年 (n=1,059)	2023年 (n=1,192)	2024年 (n=1,187)	2025年 (n=1,165)
1位	設備が古くなったり故障したため (68.8%)	設備が古くなったり故障したため (69.0%)	設備が古くなったり故障したため (70.4%)	設備が古くなったり故障したため (69.8%)	設備が古くなったり故障したため (68.2%)
2位	暑さ・寒さ・湿気など住まいの快適性を高めるため (18.0%)	暑さ・寒さ・湿気など住まいの快適性を高めるため (18.2%)	暑さ・寒さ・湿気など住まいの快適性を高めるため (20.7%)	暑さ・寒さ・湿気など住まいの快適性を高めるため (21.6%)	暑さ・寒さ・湿気など住まいの快適性を高めるため (21.2%)
3位	節電・省エネにより光熱費を抑えるため (13.4%)	節電・省エネにより光熱費を抑えるため (13.7%)	節電・省エネにより光熱費を抑えるため (15.1%)	節電・省エネにより光熱費を抑えるため (14.8%)	節電・省エネにより光熱費を抑えるため (13.8%)
4位	断熱・換気・空気環境など健康を意識した住まいにしたいから (11.2%)	断熱・換気・空気環境など健康を意識した住まいにしたいから (11.3%)	断熱・換気・空気環境など健康を意識した住まいにしたいから (11.3%)	断熱・換気・空気環境など健康を意識した住まいにしたいから (12.7%)	断熱・換気・空気環境など健康を意識した住まいにしたいから (11.2%)
5位	家族構成の変化に対応するため (10.5%)	家族構成の変化に対応するため (9.3%)	耐震性・安全性・防犯性を高めるため (8.6%)	耐震性・安全性・防犯性を高めるため (7.8%)	耐震性・安全性・防犯性を高めるため (7.6%)



快適性を高めるリフォームが年々高まる！



耐震性・安全性・防犯性を高めるリフォームがランクイン！

各年ともに「設備が古くなった」が圧倒的1位ですが、2位「暑さ・寒さ・湿気など、住まいの快適性を高めるため」のスコアは徐々に高まり、最近の異常気象の影響から暮らしを守るためのリフォームが増えているようです。3位「節電・省エネにより光熱費を抑えるため」は家計を守るための物価高対策として、4位「断熱・換気・空気環境など健康を意識した住まいにしたい」は家族の健康を守るためのリフォームと考えられそうです [図4]

担当者の声



- 【快適性の追求】コロナ禍以降、在宅時間の質向上を求める「住環境の快適化」への投資意欲が継続
- 【内容の有用性】快適・健康・省エネ・防犯など、上位ニーズを一度に解決する商材として認知拡大
- 【守りの省エネ】家計防衛と災害対策を兼ね備えた、太陽光・蓄電池などの「スマート設備」が好評

2026年にリフォームをしたい場所

2026年は、「キッチンまわり」「壁紙・クロスの張り替え」「ユニットバスまわり」のリフォーム意向

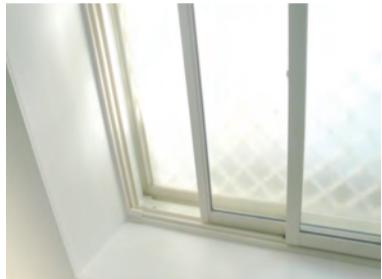
対象者全員に2026年のリフォーム意向を聞くと、「2026年にリフォームをしたい」と答えた人は49.7%、(2,335名)でした。

リフォームをしたい場所は、引き続き「水まわりのリフォーム」に意向が強いものの、これまで独占してきた「トイレ(16.4%)」が6位となりました【図5】

また、直近5年間の結果により「トイレリフォームはひと段落したのでは?」と考えられそうです。今回5位にランクインした「サッシ・窓の交換」が地道に順位をあげています。



直近5年間で6位に位置していた
「壁紙・クロスの張り替え」が2026年は2位に!



【図5】2026年に行いたいリフォームTOP10(複数回答)

1位	キッチンまわり	25.6
2位	壁紙・クロスの張り替え	21.2
3位	ユニットバスまわり	20.0
4位	外壁の張り替え・塗装	19.7
5位	サッシ・窓の交換 (二重サッシ・断熱窓・内窓など)	17.4
6位	トイレ	16.4
7位	玄関ドア・玄関周り・勝手口の改修	16.1
8位	ドア・建具の交換	14.7
9位	屋根の葺き替え・塗装	14.3
10位	洗面所	11.6

2026年にリフォームしたい人 (n=2,335) (%)



担当者の声

【快適性の追求】コロナ禍以降、在宅時間の質向上を求める「住環境の快適化」への投資意欲が継続
【窓の有用性】快適・健康・省エネ・防犯など、上位ニーズを一度に解決する商材として認知拡大
【守りの省エネ】家計防衛と災害対策を兼ね備えた、太陽光・蓄電池などの「スマート設備」が好評

2026年にリフォームをしたい理由

リフォームの理由は「古くなった」だけじゃない?

昨今の気候変動や災害、物価高から家族も家計も“守るため”的リフォームが増えている

2026年にリフォームしたいと答えた2,325名に、その理由を聞きました。理由としては「設備が古くなったり故障したため(57.2%)」が依然として1位ですが、2位に「暑さ・寒さ・湿気など、住まいの快適性を高めるため(20.5%)」3位に「断熱・換気・空気環境など健康を意識した住まいにしたいか(13.0%)」となり、健康意識の高まりを示す結果となりました【図6】

また、8位の「家事の効率・タイムパフォーマンスを高めるため(6.0%)」については、昨今の共働き世帯の増加による家事効率を高めるためのリフォームが増加していると思われます。



2026年は“健康”と“効率(タイプ)”が新テーマになりそうです。

【図6】2026年にリフォームしたい理由TOP10(複数回答)

1位	① 設備が古くなったり故障したため	57.2 (1位)
2位	② 暑さ・寒さ・湿気など、住まいの快適性を高めるため	20.5 (2位)
3位	③ 断熱・換気・空気環境など 健康を意識 した住まいにしたい 空気環境など	13.0 (4位)
4位	節電・省エネにより光熱費を抑えるため	12.5 (3位)
5位	建て替えよりもコストを抑えて再生したかったため	9.9 (7位)
6位	耐震性・安全性・防犯性を高めるため	9.7 (5位)
7位	家の資産価値を維持・向上させるため	6.9 (9位)
8位	家事の効率・タイムパフォーマンスを高めるため	6.0 (10位)
9位	モノを減らしてスッキリした空間にするため(整理・収納の見直し)	5.4 (圏外)
10位	(子どもの独立や高齢化など) 家族構成の変化に対応するため	5.3 (6位)

2026年にリフォームしたい (n=2,325) (%) () 前年順位



担当者の声

【室温のバリアフリー】暑さやヒートショック対策として、健康を守る「温度差のない家づくり」が業界の急務
【住まい×健康の進化】健康チェック可能なトイレなど、居住空間と「ヘルスケア」の連携が今後さらに深化
【タイプ需要の顕在化】家事効率重視で食洗機需要が前年比125%伸長、贅沢品から「必需品」へ定着

2025年 リフォームをするなら「ポイント&フル?」ランキング

ポイントリフォームとは、特定の場所や設備に絞って行う比較的小規模なリフォームです。
フルリフォームとは、家の骨組み（躯体）を残して、内装・外装・設備・間取りなど、家全体を大規模に改修するリフォームです。
2025年は、どちらのリフォームが多かったのでしょうか。

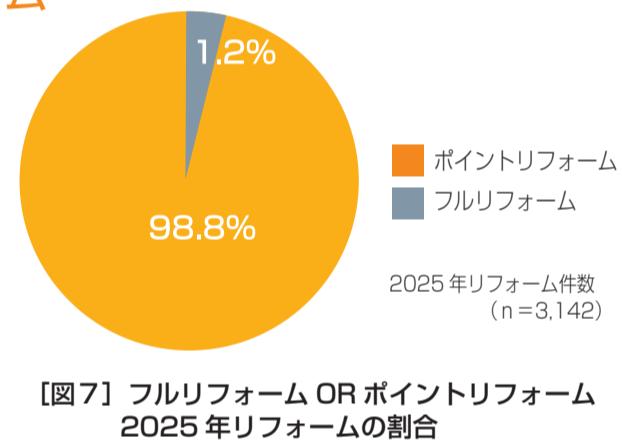


「費用を抑えて、不便なところだけ直したい」ときはポイントリフォーム
「老朽化の修繕や間取りを変えたい」ときはフルリフォーム

2025年にリフォームをした1,165名のリフォーム件数は3,142件となりました。その中から、「フルリフォーム（スケルトンリフォームを含む）」は38件と少なく「ポイントリフォーム」は1,152件となりました。[図7]



2025年は「ポイントリフォーム」が主流と言う結果に！



2025年にポイントリフォームを行った1,152名に、フルリフォームではなく「ポイントリフォーム」を選んだ理由を聞きました。上位にあがったのは、「劣化や故障が目立つ場所や不便を感じる箇所だけを直したかった（34.4%）」「フルリフォームするほどの老朽化ではなかった（31.3%）」「今の家ができるだけ長く使いたい（28.0%）」「生活に支障がある、または必要な部分だけ直せば十分だと思った（27.6%）」「費用を抑えたかった（25.7%）」等といった理由が挙げられました[図8]

[図8] ポイントリフォームを選んだ理由（複数回答）

1位	① 劣化や故障が目立つ場所や不便を感じる箇所だけを直したかった	34.4
2位	② 全面リフォームするほどの老朽化ではなかった	31.3
3位	③ 今の家ができるだけ長く使いたい	28.0
4位	生活に支障がある、または必要な部分だけ直せば十分だと思った	27.6
5位	費用を抑えたかった	25.7
6位	水まわりの使い勝手を良くしたかった (キッチン・お風呂・トイレなど)	25.3
7位	フルリフォームまでは予算がなかった	16.9
8位	生活しながら工事をしたかった	16.6
9位	短期間で済ませたかった	15.2
10位	光熱費や水道代などを節約したかった	12.2

2025年にポイントリフォームした (n=1,152) (%)

[補足] フルリフォームを選んだ理由（複数回答）

1位	① 間取りや構造を変えたかった	39.9
2位	② 今後も今の家に長く住み続けたい	34.6
3位	③ 家の老朽化が進んでいた	31.9
4位	家全体をまとめて新しくしたかった	26.6
5位	住まい全体のデザインを統一したかった	20.2
6位	ポイントリフォームや建て替えよりコストを抑えられると思った	14.4
7位	不動産価値を維持・向上させたかった	9.6
8位	工務店や販売店から全面リフォームを勧められた	8.0
9位	その他	1.6

直近5年間に全面リフォームした (n=188) (%)

2025年 リフォームにかけた金額

2026年は、リフォーム費用もコストダウン？

費用を抑えて家計を守る傾向

2025年にリフォームを行った3,142名に「リフォームにかけた金額」を聞きました。2021年～2025年までの5年間にかけたリフォーム費用は、ポイントリフォームが平均で272.7円、フルリフォームは995.9万円となりました。費用と合わせて、「2026年にポイントリフォームをしたい」と答えた人の平均予算は144.7万円となりました〔図9〕



〔図9〕リフォームにかけた金額・かけたい予算



安くて信頼できる「家電量販店リフォーム」に注目！
直近5年間のリフォーム依頼先は、「工務店」「ハウスメーカー」に次いで
「家電量販店」がランクイン！

2021年～2025年の5年間に行ったりリフォームの依頼先では、「工務店・地元のリフォーム店(61.1%)」が最も多く、「ハウスメーカー(13.5%)」と並んで「家電量販店(10.6%)」が3位となりました。依頼先を選んだ理由としては、「信頼できる／安心感があったから」が1位となりました。また工務店と家電量販店の選択理由として2番目に多かったのが「費用が安かったから」となり、さらに、家電量販店を選んだ人の約4割が「費用の安さ(39.6%)」で選んでいます〔図11〕

〔図11〕実施したリフォームの依頼先(複数回答)

- | | | |
|---|---------------|------|
| 1 | 工務店・地元のリフォーム店 | 61.1 |
| 2 | ハウスメーカー | 13.5 |
| 3 | 家電量販店 | 10.6 |

全体(N=4,700) (%)



「店舗が近くにある」
ことも
ポイント



担当者の声

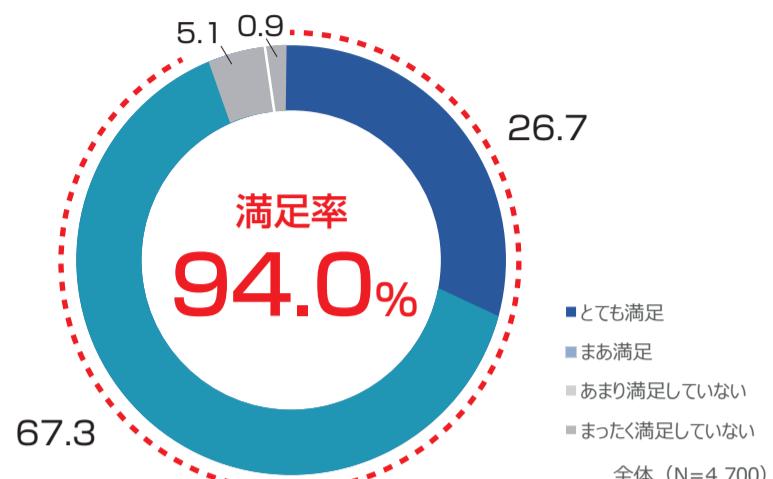
【家電信頼の波及】選定基準は家電購入と類似しており、既存会員との「信頼関係」が工事受注の入り口
【一括比較の利便性】全メーカー商品をその場で比較検討でき、ショールーム巡りの手間を省く効率性
【地域密着の相談力】予算重視のリフォームにおいて、日頃の「親しみやすさ」が価格相談のハードルを低減

リフォーム満足度は94.0%! しかし「価格面」での不満が聞こえる結果に

5年の間に行ったリフォームの満足度を4段階で聞くと、26.7%が「とても満足」と回答、また67.3%が「まあ満足」と答え、リフォームした人の94.0%がリフォームに満足した結果となりました。[図12]

しかし一方で、6.0%が「満足していない」と回答しており、「満足しなかった」理由としては「価格面での我慢」等の回答が多数みられました。[理由1]

[図12] リフォーム満足度



[理由1] リフォームに「満足しなかった」理由（抜粋）

- リフォームをしていない場所がすごく気になってしまった（北海道 48歳女性）
- やりたいことが全部できたわけではないから（宮城県 54歳男性）
- 金額の関係で我慢した所もあり、後でリフォームをしておけば良かったと思う所が多くあります（千葉県 62歳女性）
- 価格が妥当だったのか気になる（福井県 70歳男性）
- 節約したリフォームだったのでクオリティに不満（北海道 69歳男性）
- 思ったより使い勝手が良くなかったから（静岡県 73歳男性）
- 思ってたほど代わり映えしていない（富山県 73歳男性）



「価格で我慢した」や「やりたい事ができなかった」など、価格面でネックとなっているようです。

リフォームしたい！その気持ちはどっちが先？！ 家事シェアの意識による「キッチンまわり」のリフォームが人気

配偶者がいる男女に、どちらから「リフォームしたい」と発案するのか？の質問を行いました。

リフォームの発案者は男女とも「自分」（男性58.6%、女性55.8%）と回答し、次いで「配偶者（相手）」（男性38.5%、女性39.9%）と男女ともほぼ同数と言う回答でした。

しかし、最終決定者は男性は「自分」が79.9%、女性は「配偶者」が53.5%と高くなり、最終決定は男性が行うケースが多いようです。[図13]

では、男女で希望するリフォームの違いがあるのか？

2026年のリフォーム希望を配偶者がいる男女別で見ると、男女ともリフォーム希望の第1位は「キッチンまわり」（男性24.9%、女性26.1%）でした。[図14]

「女性の社会進出」、「家事シェア意識」という、昨今の社会的傾向と思われる結果となりました。

[図14] 男女別「リフォームをしたい場所」

配偶者あり・男性 (n=1,393)



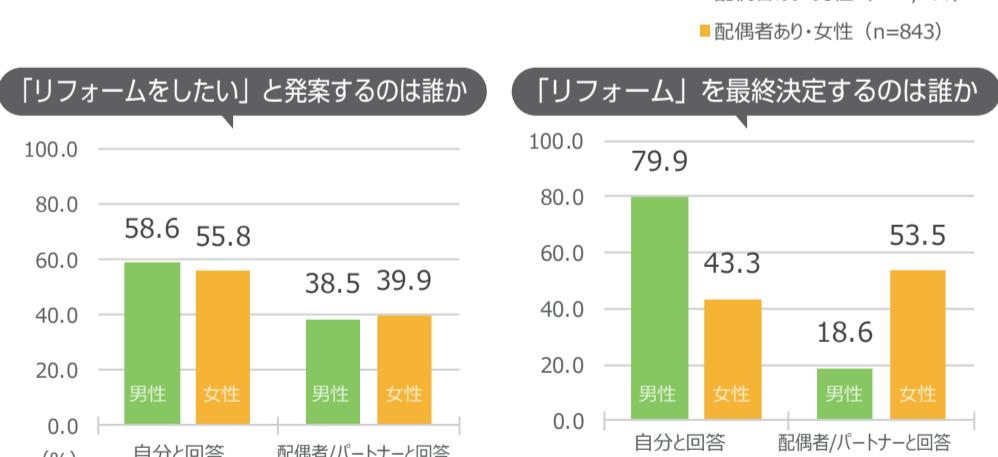
1	👑 キッチンまわり	26.1
2	👑 壁紙・クロス張り替え	21.4
3	👑 ユニットバスまわり	21.3
	外壁張り替え・塗装	20.5
	サッシ・窓の交換	16.2

配偶者あり・女性 (n=414)

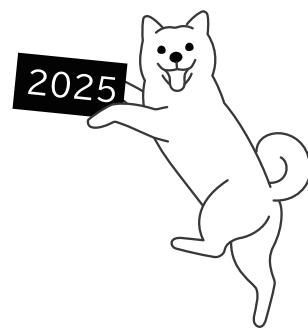


1	👑 キッチンまわり	24.9
2	👑 壁紙・クロス張り替え	23.2
3	👑 ユニットバスまわり	21.0
	外壁張り替え・塗装	20.5
	サッシ・窓の交換	18.8

[図13] リフォームを決定するのは誰か



リフォームなんでも
都道府県別ランキング



今回の調査は 2025 年からの直近 5 年間（2020～2025 年）に、
リフォームを行った 4700 名のうち
さらに、都道府県別の傾向について、各 100 名様を対象に調査を行いました。

調査結果からエリア別、都道府県別のランキングを発表します。



2025年
リフォームをした場所 ランキング
都道府県別

トイレのリフォーム率が高い地域は「中国地区」
キッチンまわりは「近畿地区」

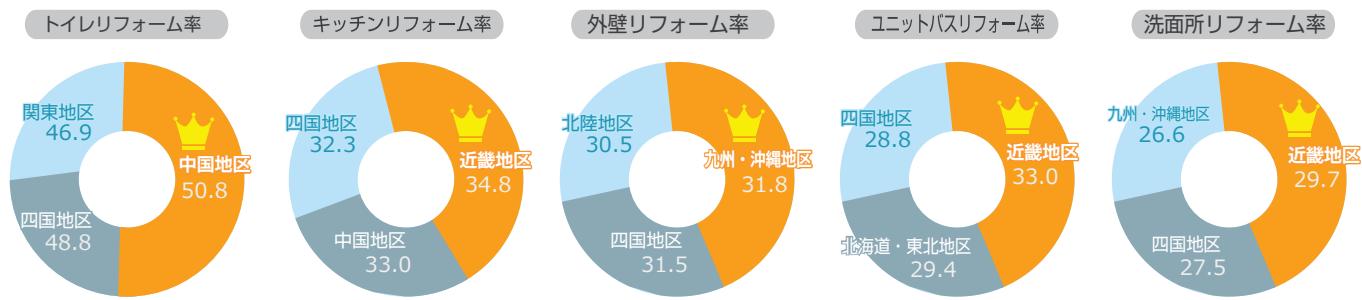
直近5年間でリフォームした場所は「トイレ (46.0%)」「キッチンまわり (31.1%)」、「外壁の張り替え・塗装 (29.2%)」「ユニットバスまわり (27.9%)」「洗面所 (26.3%)」となりました [図 15]

上記結果を元に地域別で見ると、トイレリフォームは「中国地区 (50.8%)」がもっとも高く、キッチンまわりは「近畿地区 (38.4%)」外壁の張り替え・塗装は「九州・沖縄地区 (31.8%)」ユニットバスまわりは「近畿地区 (33.0%)」合わせて、洗面所リフォームも「近畿地区 (29.7%)」と言う結果になりました [図 16]

[図 15] 直近5年間にリフォームした場所

1位	1 手 トイレ	46.0
2位	2 手 キッチンまわり	31.1
3位	3 手 外壁の張り替え・塗装	29.2
4位	ユニットバスまわり	27.9
5位	洗面所	26.3
全体 (N=4,700)		(%)

[図 16] 地区別リフォーム率ランキング



トイレのリフォーム率が高い「石川県」「長野県」
トイレ、キッチン、洗面所と水回りにこだわりが強い「滋賀県」

各都道府県別のリフォーム率をみると滋賀県が「キッチンリフォーム 2位 (41.0%)・ユニットバスリフォーム 2位 (37.0%)・洗面所リフォーム 1位 (36.0%)」でランクインしています [図 17]



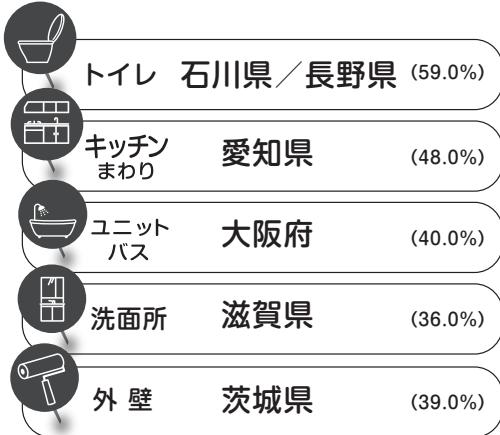
滋賀県琵琶湖大橋

[図 17] 都道府県別リフォーム率ランキング

トイレ		キッチンまわり		外壁		ユニットバスまわり		洗面所	
1 王冠	石川県	59.0	1 王冠	愛知県	48.0	1 王冠	茨城県	39.0	1 王冠
2 王冠	長野県	59.0	2 王冠	滋賀県	41.0	2 王冠	徳島県	37.0	2 王冠
3 王冠	岡山県	56.0	3 王冠	奈良県	40.0	3 王冠	沖縄県	37.0	3 王冠
4 王冠	奈良県	55.0	4 王冠	新潟県	40.0	4 王冠	富山県	37.0	4 王冠
5 王冠	香川県	55.0	5 王冠	山口県	39.0	5 王冠	愛媛県	36.0	5 王冠
6 王冠	島根県	54.0	6 王冠	長野県	38.0	6 王冠	静岡県	36.0	6 王冠
7 王冠	群馬県	52.0	7 王冠	群馬県	37.0	7 王冠	宮崎県	35.0	7 王冠
8 王冠	東京都	51.0	8 王冠	徳島県	37.0	8 王冠	長崎県	35.0	8 王冠
9 王冠	大阪府	51.0	9 王冠	島根県、高知県	35.0	9 王冠	宮崎県	34.0	9 王冠
10 王冠	千葉県、愛知県 山口県、熊本県	50.0	10 王冠	兵庫県、北海道	35.0	10 王冠	青森県	33.0	10 王冠
(%)		(%)		(%)		(%)		(%)	

対象者数は、エリア別 北海道・東北地方 n=700、北陸地方 n=400、関東地方 n=700、中部地方 n=600、近畿地方 n=600、中国地方 n=500、四国地方 n=400、九州・沖縄地方 n=800 都道府県別は n=100 ずつ

「リフォームをした場所」が多い県はどこ？！



キッチン・洗面所・ユニットバスのリフォームで上位

過去5年間では「滋賀県」が
3カ所のリフォームで堂々第1位！

滋賀県は「洗面所リフォーム (36.0%)」で1位、そして「キッチンリフォーム(41.0%)」2位・「ユニットバスリフォーム (37.0%)」2位の「3カ所リフォーム」で上位にランクインしています。また、2カ所のリフォームでランクインしている都道府県は、鹿児島県・大阪府・岡山県・石川県となりました。

2021年～2025年
リフォームをした場所が多かった県

滋賀県



木原誠太郎さんに
おきました。



県民博士 (リサーチプロデューサー)

木原誠太郎さん

直近5年間のリフォーム実施率で「水まわりリフォーム」の上位県

滋賀県民は「水」に敏感だからこそ？！

堅実で計画的、家族思いな滋賀県民は水まわりのリフォームの上位県！
持ち家・戸建て比率が高く長く住むマイホーム志向が強いため、長期的
目標で水まわりに投資する人が多く見られます。琵琶湖があることで
「水」に敏感で、「長く住む家だからこそ、水まわりから賢く整える」
堅実でロジカルな県民性が反映されているようです。

堅実で計画的・家族思いな
滋賀県民

(2021年～2025年)
水まわりリフォームの上位県

滋賀県



「リフォームをした場所」が多い県はどこ？！

「リフォームをした場所」をリフォーム場所別でみると、トイレリフォームを行なった人が多い都道府県は「石川県・長野県（同率 59.0%）」となり、キッチンまわり（キッチンリフォーム）では「愛知県（48.0%）」「滋賀県（41.0%）」「奈良県・新潟県（同率 40.0%）」の結果となりました。また、外壁の張り替え・塗装では、「茨城県（39.0%）」「徳島県・沖縄県・富山県（同率 37.0%）」が上位を占めています。

ユニットバスのリフォームでは、「大阪府（40.0%）」「滋賀県（37.0%）」「鹿児島県・高知県（同率 35.0%）」洗面所のリフォームは「滋賀県（36.0%）」「大阪府（34.0%）」「香川県・北海道（同率 33.0%）」と言う結果となりました。

キッチンまわり
リフォーム

- 愛知県 (48.0%)
- 滋賀県 (41.0%)
- 奈良県 (40.0%)
- 新潟県 (40.0%)
- 山口県 (39.0%)

北海道

ユニットバス
リフォーム

- 大阪府 (40.0%)
- 滋賀県 (37.0%)
- 鹿児島県 (35.0%)
- 高知県 (35.0%)
- 岡山県 (34.0%)

北海道

トイレ
リフォーム

- 石川県 (59.0%)
- 長野県 (59.0%)
- 岡山県 (56.0%)
- 奈良県／香川県 (55.0%)

北海道

外壁
リフォーム

- 茨城県 (39.0%)
- 徳島県 (37.0%)
- 沖縄県 (37.0%)
- 富山県 (37.0%)
- 愛媛県／静岡県 (36.0%)

北海道

洗面所
リフォーム

- 滋賀県 (36.0%)
- 大阪府 (34.0%)
- 香川県 (33.0%)
- 北海道 (33.0%)
- 鹿児島県／石川県 (31.0%)

北海道

■ 1位 ■ 2位 ■ 3位 ■ 4位 5位

株式会社エディオンは、都道府県別の「リフォーム場所：2021年～2025年(直近5年)」を調査しました

対象者数は、エリア別 北海道・東北地方 n=700、北陸地方 n=400、関東地方 n=700、中部地方 n=600、近畿地方 n=600、中国地方 n=500、四国地方 n=400
九州・沖縄地方 n=800 都道府県別は n=100 ずつ

2021年～2025年
リフォームをした理由 ランキング
都道府県別

古くなってリフォームをする「三重県」「兵庫県」
住まいの快適性のためにリフォームをする「岡山県」「山形県」「長野県」

2021年～2025年の5年間にリフォームをした理由をもとに、
「リフォームをした理由」を都道府県別のランキングにしました [図18]

「設備が古くなったり故障したため」の理由でリフォームをした人の全国平均は「67.4%」でした。都道府県別でみると1位「三重県・兵庫県（同率76.0%）」でした。

さらに、「暑さ・寒さ・湿気など住まいの快適性を高めるため」では、全国平均が18.7%となり、「岡山県（29.0%）」が1位「山形県・長野県（同率26.0%）」は2位となりました。



「節電・省エネにより光熱費を抑えるため」は、全国平均13.1%となり、「島根県・岡山県・熊本県（同率21.0%）」の3県が同率でランクインしています。また、「断熱・換気・空気環境など健康を意識した住まいのため」では、全国平均10.7%となり、「新潟県（20.0%）」が1位、「富山県・奈良県（同率17.0%）」と言う結果でした。最後に「耐震性・安全性・防犯性を高めるため」の理由でリフォーム行った人は全国平均7.8%で、内訳として「福井県（12.0%）」「群馬県・富山県・石川県・大阪府（同率11.0%）」と言う結果になりました。

[図18]直近5年間に（2021年～2025年）リフォームをした理由

各都道府県 n=100 ずつ

設備が古くなったり 故障したため	暑さ・寒さ・湿気など 住まいの快適性を 高めるため	節電・省エネにより 光熱費を抑えるため	断熱・換気・空気環境など 健康を意識した 住まいにしたいから	耐震性・安全性・ 防犯性を高めるため
三重県 76.0 （%）	岡山県 29.0 （%）	島根県 21.0 （%）	新潟県 20.0 （%）	福井県 12.0 （%）
兵庫県 76.0 （%）	山形県 26.0 （%）	岡山県 21.0 （%）	富山県 17.0 （%）	群馬県 11.0 （%）
青森県 75.0 （%）	長野県 26.0 （%）	熊本県 21.0 （%）	奈良県 17.0 （%）	富山県 11.0 （%）
京都府 74.0 （%）	新潟県 25.0 （%）	愛媛県 19.0 （%）	岐阜県 15.0 （%）	石川県 11.0 （%）
和歌山県 74.0 （%）	岐阜県 25.0 （%）	北海道 18.0 （%）	大阪府 15.0 （%）	大阪府 11.0 （%）
群馬県 73.0 （%）	兵庫県 25.0 （%）	福井県 18.0 （%）	山形県 14.0 （%）	岩手県、宮城県 10.0 （%）
島根県 73.0 （%）	岩手県 24.0 （%）	栃木県 17.0 （%）	千葉県 14.0 （%）	山形県、福島県 10.0 （%）
愛媛県 73.0 （%）	富山県 24.0 （%）	石川県 17.0 （%）	山梨県 14.0 （%）	神奈川県 10.0 （%）
大分県 73.0 （%）	島根県 24.0 （%）	奈良県 17.0 （%）	愛知県 14.0 （%）	静岡県、奈良県 10.0 （%）
千葉県、長野県 72.0 （%）	群馬県 23.0 （%）	鳥取県 17.0 （%）	鳥取県 14.0 （%）	高知県、熊本県 10.0 （%）
全国平均 67.4 （%）	全国平均 18.7 （%）	全国平均 13.1 （%）	全国平均 10.7 （%）	全国平均 7.8 （%）

2026年
リフォームをしたい場所 ランキング
都道府県別

2026年、キッチンまわりをリフォームしたい
「和歌山県」「大分県」「愛媛県」
壁紙・クロスの張り替えをしたい「福岡県」「奈良県」「千葉県」

2026年にリフォームしたい場所（図3参照）別に都道府県をランキングにすると、「キッチンまわり（全国平均25.6%）」をリフォームしたい人は「和歌山県（38.6%）」「大分県（36.4%）」「愛媛県（35.4%）」に多く「壁紙・クロスの張り替え（全国平均18.7%）」は、「福岡県（36.5%）」「奈良県（32.1%）」「千葉県（30.8%）」の順、「ユニットバスまわり（全国平均20.0%）」は、「滋賀県（30.6%）」「宮城県（29.8%）」「富山県（29.5%）」に多くなっています。



「外壁の張り替え・塗装（全国平均19.7%）」は、「鹿児島県（36.0%）」「高知県（34.8%）」「千葉県（28.2%）」の順に、二重サッシ・断熱窓、内窓など「サッシ・窓の交換（全国平均17.4%）」は、「福岡県（30.8%）」「島根県（28.8%）」「和歌山県（27.3%）」の順となりました〔図19〕

〔図19〕2026年リフォームしたい場所別 全国ランキングTOP10

キッチンまわり			壁紙・クロスの張り替え			ユニットバスまわり		
1位	和歌山県	38.6	1位	福岡県	36.5	1位	滋賀県	30.6
2位	大分県	36.4	2位	奈良県	32.1	2位	宮城県	29.8
3位	愛媛県	35.4	3位	千葉県	30.8	3位	富山県	29.5
4位	高知県	34.8	4位	広島県	29.8	4位	福岡県	28.8
5位	広島県	34.0	5位	熊本県	28.6	5位	山口県	28.3
6位	栃木県	33.9	6位	沖縄県	28.0	6位	奈良県	26.8
7位	三重県	31.0	7位	鳥取県	27.7	7位	沖縄県	26.0
8位	山形県	30.9	8位	新潟県	27.3	同率 8位	岩手県	25.9
同率 9位	千葉県	30.8	9位	長崎県	27.1	同率 8位	神奈川県	25.9
同率 9位	大阪府、福岡県	30.8	10位	埼玉県、福井県、静岡県	25.0	同率 8位	宮崎県	25.9
全国平均		25.6 (%)	全国平均		21.2 (%)	全国平均		20.0 (%)

外壁の張り替え・塗装			サッシ・窓の交換		
1位	鹿児島県	36.0	1位	福岡県	30.8
2位	高知県	34.8	2位	島根県	28.8
3位	千葉県	28.2	3位	和歌山県	27.3
4位	茨城県	27.5	4位	長崎県	27.1
同率 5位	愛媛県	27.1	5位	静岡県	25.0
同率 5位	長崎県	27.1	6位	熊本県	23.2
同率 7位	石川県	25.0	同率 7位	秋田県	23.1
同率 7位	島根県	25.0	同率 7位	長野県	23.1
同率 7位	佐賀県	25.0	9位	香川県	22.4
10位	青森県	24.6	10位	新潟県	21.8
全国平均		19.7 (%)	全国平均		17.4 (%)

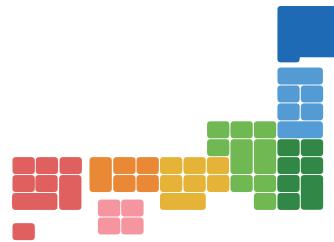
対象は2026年にリフォームしたい人（n=2,335）



2026年
リフォームをしたい理由 ランキング
都道府県別

2026年にリフォームしたい理由別に上位県を見たのが【図16】です。

ここから県民性を導くと、熊本県民は耐震性や防犯性も考慮しつつスッキリした空間づくりで住まいの快適性を高め、健康増進と同時に省エネやコスト意識も高いしっかりさん。香川県民は老朽化がきっかけのリフォームでも、住まいの快適性を高めたいアップサイクリスト、そんな側面が見えてきました。



木原誠太郎さんに
お聞きしました。



県民博士(リサーチプロデューサー)
木原誠太郎さん

「古くなった家でも、どう良くするか」の違いが顕著に
県民性によって住まいへの意識も違う

熊本県民は、きっちりして論理性があり家族思いで、バランスの良いタイプが多く、地震・豪雨を経験しているので、住まいへの意識が高いということから、モノを減らして掃除しやすくし、冷暖房効率も上げる“スッキリ快適リフォーム”に向かいやすいと考えられます。

面積が小さい香川県は、都市機能がコンパクトにまとまり生活しやすい環境が魅力です。県民性は自由さと論理性が高く、リフォームも壊れたから直すだけでなく、壊れたから「より良く・楽しく変える」発想力が高い。老朽化をチャンスに変える“アップサイクリスト”がピッタリですね。



